

工事現場における施工体制の把握表

○工事概要

工 事 名			
工 期	平成	年	月 日
請 負 金 額	元 請	千円	一次下請総額
請 負 会 社 名			
監 理 技 術 者			
監 督 員			

○工事着手前の把握

実施日：平成 年 月 日

把 握 項 目	把 握 内 容	把 握 欄
①監理技術者資格者証の把握		
②同一性の把握		
⑦工事カルテの登録の把握		
所 見		

○工事施工中 [1回] の把握

実施日：平成 年 月 日

把 握 項 目	把 握 内 容	把 握 欄
⑧建設業許可を示す標識		
⑨建退共制度に関する掲示		
⑩労災保険に関する掲示		
所 見		

○工事実施中 [当初及び変更時] の把握

④施工体制台帳

当初・変更時	把 握 日	把 握 欄	所 見
当 初			
() 変更時			

様式

別紙-3の2-1

工事現場における施工体制の把握表(一括下請負-1)

No.	点検項目	内容	点検日			
1	一般事項		年月日	年月日	年月日	年月日
2	担当課名					
3	工事名					
4	元請負会社名					
5	業種/ランク					
6	主たる部分(最大工事費の工種)					
7	請負金額(千円)					
8	契約年月日					
9	予定工期					
10	一次下請数					
11	一次下請数(警備除)					

No.	点検項目	説明	内容			
	元請負人に着目した点検	主に元請負人の一括下請負についての点検				
8	管理技術者の専任(①OK、②疑義、③問題)	②は頻度増、重点調査対象、③は通知。番号及び点検日記入。				
9	元請の主たる部分の直営施工(①あり、②なし)	元請に直営施工があり、かつ過半を占める時は元請に関する16以下の調査不要(下請に関する調査は必要)				
10	一次下請負契約金額合計(千円)					
11	元請実施額(元請契約額-一次下請額計)(千円)					
12	元請実施割合(元請実施額/元請契約額)					
13	主たる部分を実施する(最大契約額)の一次下請会社名					
14	上の請負金額(千円)					
15	上の金額割合(上の金額/元請契約額)					

施工体系のパターン特性		以下に該当するパターンの場合、重点調査対象(少なくとも26まで点検)	内容			
16	a.請負金額が一定額以上でかつ、主たる部分を実施する(最大契約額)の一次下請負人が元請契約額の過半を実施(①yes ②no)	①の場合は会社名				
17	b.同業種の同規模(ランク)または上位規模の会社が一次下請にある(①yes ②no)	①の場合は一次下請の会社名				
18	c.工区割された同時期の隣接工事について、同一会社が一次下請等に存在(①yes ②no)	①の場合は会社名及び(当該一次下請の請負金額合計/元請負金額の内少額の一方の請負金額)				
19	d.低入札価格調査対象工事(①yes ②no)	①の場合は会社名				
20	e.その他、調査の必要性を認めた工事(①yes ②no)	①の場合は会社名				

施工体系のパターン特性で抽出した一次下請会社に関する事項		年月日	年月日	年月日	年月日
21	当該一次下請負会社名				
22	上記の請負金額(千円)				
23	上記の主任技術者の所属及び専任(①OK ②疑義 ③問題)	①は継続調査、②は通知			
24	上記の担当工事内容	体系図に記入してある担当工事			
25	上記の主たる部分の直営施工(①あり ②なし)				

元請負人の実質関与		単年度工事の場合、工期中間で1回以上。ただし、重点調査対象は頻度を増す。	年月日	年月日	年月日	年月日
26	元請の実質関与(総合的な企画・調整等の業務の実施状況(ア.イ.ウ))	パターン特性で注目した一時下請負との関係にも着目しつつ、別紙「施工体制の点検表(実質関与)」により点検				
27	元請と主たる部分を施工する一次下請等の役割分担の考え方等についての元請負人の意見	上で、イ.またはウの場合、または、紛らわしいケースの判定の目安で一括下請負の疑義がある工事となる場合等に元請負人の意見を聞く。詳細な内容は別紙に記入				
28	元請と主たる部分を施工する一次下請等の役割分担の考え方等についての一次下請負人の意見	元請負人の意見を聞いた上で、必要な場合に一次下請負人の意見を聞く。詳細な内容は別紙に記入				
29	以上の点検結果により一括下請負の疑いがあるとして必要な措置の実施(①実施 ②継続調査 ③不要)					

注1)直営施工:主要機械オペレータ、労働者を直接に指揮して施工している場合とする。

注2)本様式は点検に適した形式に変更してもよい。

様式

別紙-3の2-2

工事現場における施工体制の把握表(一括下請負-2)

No.	点検項目	内 容	点 検 日			
一般事項						
1	担当課名		年月日			
2	工事名		年月日	年月日	年月日	年月日
下請負人に着目した点検		少なくとも三次下請まで点検	内 容			
30	管理業務のみと思われる下請負会社の有無(①あり ②なし)	体制台帳等から抽出した管理業務のみと思われる会社の有無				
31	当該会社の社名					
32	上の下請負次数					
33	上の請負金額(千円)					
34	上の主任技術者の所属及び専任(①OK ②疑義 ③問題)	②は継続調査、③は通知				
35	上記の担当工事内容	体系図に記入してある担当工事				
36	上記の主たる部分の直営施工(①あり ②なし)	該当会社に直営部分がない場合は、再下請負会社の属性を調査(以下の項目)				
37	該当会社からの再下請会社の数					
38	再下請負会社の内、最大契約額の会社の契約額(千円)	把握できない場合は、その旨記入				
39	上の金額割合(下位会社の請負金額/上位会社の請負金額)					
40	上の主任技術者の所属及び専任(①OK ②疑義 ③問題)	②は継続調査、③は通知				
41	上記の担当工事内容	体系図に記入してある担当工事				
42	当該下請負人等の役割分担の考え方、元請による指導内容(業法第24条の6)等についての元請負人の意見	上記の調査で、下請負人に一括下請負の疑義がある場合に、元請負人の意見を聞く。詳細な内容は別紙に記入				
43	一括下請負人の疑義がある下請負人の意見	元請負人の意見を聞いた上で、必要な場合に当該下請負人の意見を聞く。詳細な内容は別紙に記入				
44	以上の点検結果により一括下請負の疑いがあるとして必要な措置の実施(①実施 ②継続調査 ③不要)					
(以下は複数社ある場合に使用)						
31	当該会社の社名					
32	上の下請負次数					
33	上の請負金額(千円)					
34	上の主任技術者の所属及び専任(①OK ②疑義 ③問題)	②は継続調査、③は通知				
35	上記の担当工事内容	体系図に記入してある担当工事				
36	上記の主たる部分の直営施工(①あり ②なし)	該当会社に直営部分がない場合は、再下請負会社の属性を調査(以下の項目)				
37	該当会社からの再下請会社の数					
38	再下請負会社の内、最大契約額の会社の契約額(千円)	把握できない場合は、その旨記入				
39	上の金額割合(下位会社の請負金額/上位会社の請負金額)					
40	上の主任技術者の所属及び専任(①OK ②疑義 ③問題)	②は継続調査、③は通知				
41	上記の担当工事内容	体系図に記入してある担当工事				
42	当該下請負人等の役割分担の考え方、元請による指導内容(業法第24条の6)等についての元請負人の意見	上記の調査で、下請負人に一括下請負の疑義がある場合に、元請負人の意見を聞く。詳細な内容は別紙に記入				
43	一括下請負人の疑義がある下請負人の意見	元請負人の意見を聞いた上で、必要な場合に当該下請負人の意見を聞く。詳細な内容は別紙に記入				
44	以上の点検結果により一括下請負の疑いがあるとして必要な措置の実施(①実施 ②継続調査 ③不要)					

注1) 直営施工: 主要機械オペレータ、労働者を直接に指揮して施工している場合とする。

注2) 本様式は点検に適した形式に変更してよい。

様式

別紙-3の3

工事現場における施工体制の把握表(実質関与)

元請負人			主たる部分を行う一次下請人	当該項目に関する実施者 (注1)
〇:実施している。 △:一部が欠けている。 ×:ほとんど出来ていない。 ー:判別不能			〇:元請に代わって実施。 △:元請の補助として実施。 □:担当分野を実施(項目7.8.10) ×:関与していない。 ー:判別不能。対象外	〇:元 △:元+一次 ×:一次
担当課名				
工事名				
元請負会社名				
主の一次下請負会社名				
請負額比 (一次下請:)/(元請:)=				
元請負人の実質関与に関する点検事項				
番号	項目	内容	監督・検査での点検事項等	左の判定
1	技術者	・元請負会社に所属している技術者の専任が認められる。	・施工計画書に記載された技術者の所属。・専任状況。	—
2	発注者との協議	・請負契約書に基づく監督、報告事項、設計内容の確認や設計変更協議等の打合せを主体的に実施。	・打合せ、打合せ簿。等	
3	住民への説明	・工事施工に関する具体的内容の住民説明を行う。 ・住民等からの苦情等について、的確に対応。	・日報、住民からの苦情の内容。等	
4	官公庁等への届出等	・労働安全衛生法、環境法令等に定められた官公庁への届け出を行い、履行。 ・工事施工上必要な道路管理者、交通管理者等への申請、協議を実施。	・申請書等の内容。等	
5	近隣工事との調整	・近隣工事との調整を適切に実施。	・近隣工事と調整がとれた施工。等	
6	施工計画	・契約図書の内容を適切に把握。 ・設計図等の照査を的確に実施。 ・施工計画(工程計画、安全計画、品質計画等)を立案。 ・必要となった修正を適切に実施。	・施工計画書、施工計画打合せ。等	
7	工程管理	・工事全体を把握し、工事の手順、段取りを適切に調整、指導。 ・工程変更を余儀なくされた時に適切に対応。・災害防止のための臨機の措置を実施。	・施工計画と実際の差。等	(□の場合は、担当分野)(注2)
8	出来形・品質管理	・品質確保の体制整備。 ・所定の検査、試験を実施。 ・検査、試験結果を適切に保存。 ・不具合等の発生時に適切な対策を実施。	・出来形報告書類。品質記録書類。写真。等	(□の場合は、担当分野)(注2)
9	完成検査	・下請施工分の完成検査。	・点検時ヒアリング。元請の出来形管理資料。等	—
10	安全管理	・安全確保に責任ある体制の保持。 ・設備、機械、安全施設、安全行動等の点検。 ・労働者の安全教育、下請負業者の安全指導。	・施工計画書。仮設物の状況。仮設物の点検記録。日報。安全大会。安全パトロール、教育の実施状況。等	(□の場合は、担当分野)(注2)
11	下請の施工調整及び指導監督	・施工場所、施工取り合い部分、仮設物の使用等について調整指導。 ・施工上の留意点、技術的内容について具体的指導。 ・施工体制台帳、体系図の整備。	・現場の施工状況。下請負からの苦情。下請の事故等の処置。施工体制台帳。等	

12	総合判定	○の数
		△の数
		×の数
		判定(注3)

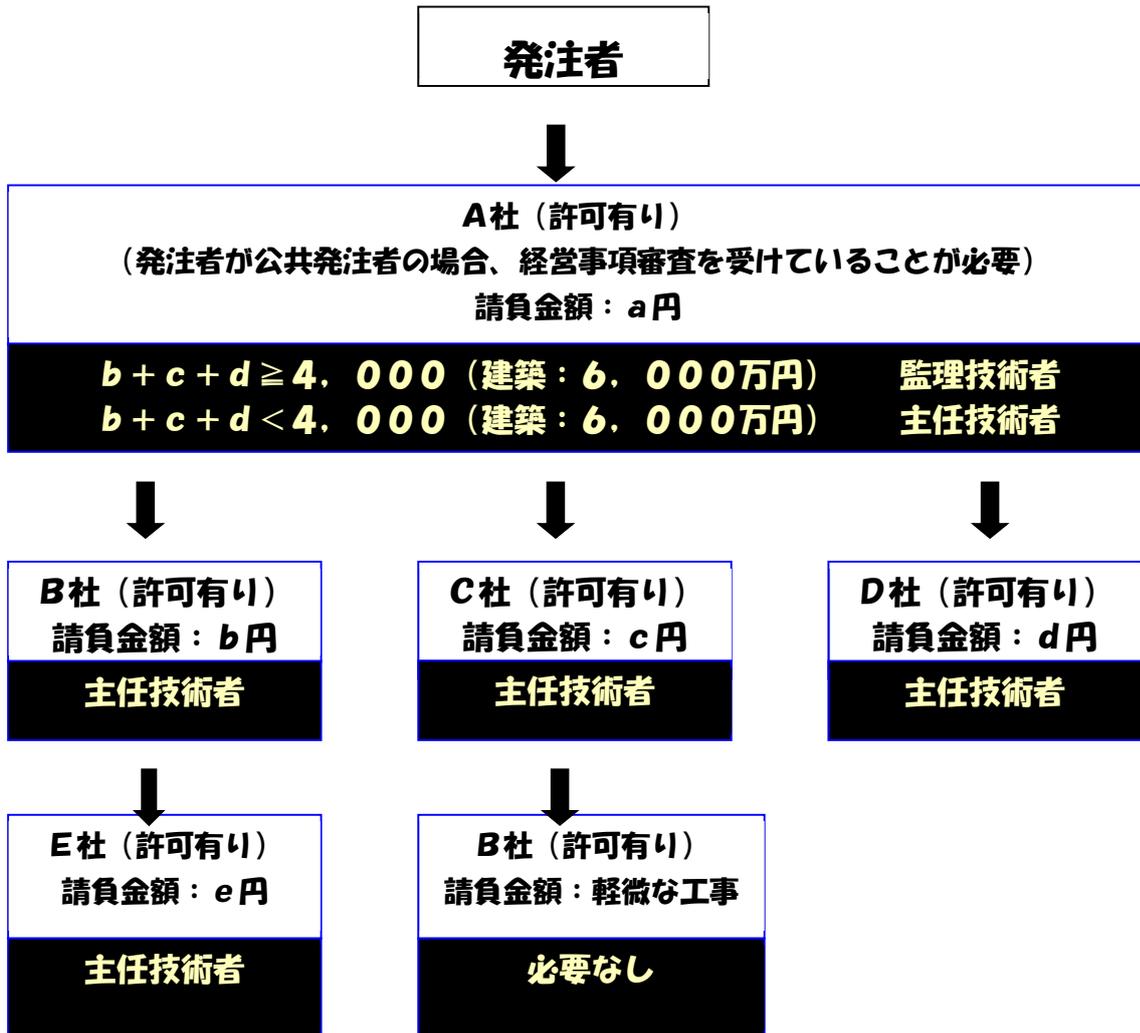
注1)	元請	下請	実施者	
	○	×	○	元請が実施(一次下請は実施していない)。
	×	○、□	×	実質的に一次下請が実施。
	△	△、□	△	元請と一次下請で実施。
	○	□	○	7.8.10のみ。ケース1、ケース2に該当する場合は、注意して点検。
	○	○	○、△	あり得ないケース。

注2) 元請が実施すべき業務まで実施している場合は△、専門工程に係る業務のみを実施している場合は□。

注3) 判定
ア. 全て○ : 元請負は実質関与していた。
イ. ア以外 : 元請と一次下請が共同で元請の行うべき総合的な企画調整等を実施していた。
ウ. 全項目で△または× : 一次下請が元請が行うべきことを実施していた。(元請の一括下請として通知)

注4) 本様式は点検に適した形式に変更してよい。

1. 技術者の設置事例



2. 技術者の現場専任

専任を要しない期間

工事準備等の行為を含め工事現場が不稼働であることが明確な期間

